

關係資料

2 参加青年の構成等

(1) 国別・年齢別参加青年数

国名 \ 年齢	18～19歳	20～24歳	25～30歳	31歳以上	計
日本	2	12	5	-	19
シンガポール	0	3	13	-	16
タイ	1	8	7	-	16
ブルネイ	0	6	10	-	16
カンボジア	4	11	1	-	16
インドネシア	0	11	5	-	16
ラオス	1	11	4	-	16
マレーシア	4	9	3	-	16
フィリピン	0	4	12	-	16
東ティモール	2	1	3	-	6
ベトナム	3	6	7	-	16
計	17	82	70	0	169

(注) 2025年4月1日現在

(2) 国別・職業別参加青年数

国名 \ 職業	公務員	会社員	NGO/ NPO	自営業	教員	学生	その他	計
日本	2	0	0	1	0	14	2	19
シンガポール	4	5	4	1	0	1	1	16
タイ	4	4	3	0	1	4	0	16
ブルネイ	5	6	0	1	0	1	3	16
カンボジア	0	3	1	0	1	11	0	16
インドネシア	3	0	2	1	1	7	2	16
ラオス	1	7	4	0	1	2	1	16
マレーシア	3	0	0	0	0	13	0	16
フィリピン	8	4	0	1	3	0	0	16
東ティモール	1	1	1	0	0	2	1	6
ベトナム	4	2	0	2	1	6	1	16
計	35	32	15	7	8	61	11	169

(注) 2025年4月1日現在

(1) SSEAYPインターナショナル(SI)とは

「東南アジア青年の船」事業(SSEAYP)の参加国では、日本における内閣府(総理府／総務庁)の青年国際交流事業既参加青年の組織である日本青年国際交流機構(IYEO)と同様に活動団体を組織し、各国において各種の国際交流活動及び青少年健全育成活動等に寄与している。

SIは、1987年に、当時のこれらのASEAN 6 各国の事後活動組織とIYEOによって結成された国際的連携組織である。

(2) 構成員

正会員：ブルネイ、カンボジア、インドネシア、日本、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール及びタイにおける事後活動組織

準会員：ラオス及びベトナムにおける事後活動組織

国際組織としてのSI事務局は、現在日本(IYEO)に置かれており、事務局長には田島如子氏(第26回日本PY)が選任されている。また、事務局次長には、川添賢史氏(第27回日本PY、第49回日本OBSC)及びMr. Thathsaphone Lerththavone(第32回ラオスPY、第42回ラオスNL)が選任されている。

(3) 目的

SIは、「東南アジア青年の船」事業に参加することで得られた友情の永続・発展を図るとともに、国際交流活動及び社会貢献活動などにより、各国事後活動組織の活動を展開することを第一の目的としている。SIの活動を通して、各国事後活動組織が協力し合い、それぞれの、またSI全体としての目的の達成に向かっている。

(4) 活動内容

- ① **総会の開催(SIGA: SSEAYP International General Assembly)**
年1回、開催は参加国の持ち回りで行われている。
- ② **各国事後活動組織代表者会議の開催(COP: Council of Presidents)**
年2回以上、各国の事後活動組織の代表者が集まり、SIの活動について話し合いを行っている。

- ③ **既参加青年連携強化会議(OBSC: Onboard Ship Conference)**

年1回、「東南アジア青年の船」事業実施中に、PYに対し事後活動の現状を報告するもの。

- ④ **SSEAYP NEWSの編集**

年1回、OBSC代表者によって記事の収集と編集がなされている。主な内容は、SIの活動、各国事後活動組織の活動紹介及び各国PYの事後活動紹介等である。

- ⑤ **SSEAYPインターナショナル賞(SI AWARD)**

3年に一度、SI構成員のボランティア精神や社会貢献の精神を促進するために、SIに貢献のあった個人もしくは団体に賞を贈るもの。

- ⑥ **社会貢献活動の推進**

SIは、自然災害の被災地域、障害者施設、児童養護施設などに物資等を提供するほか、各国での資金集めや様々な社会貢献活動に取り組んでいる。2017年は、SI結成30周年及びASEAN設立50周年に当たる記念の年のため、SI加盟各国でそれぞれの社会貢献活動「Project 30/50」に取り組んだ。2018年からは、SI加盟各国が取り組む社会貢献活動を、「SSEAYP Go & Grow」と名付けている。

- ⑦ **人材ネットワークの推進**

似たような分野の職業や学問に従事している既参加青年同士が、SIの人材ネットワークを活用し、専門分野に関する情報の共有などを行っている。

- ⑧ **他団体の行う国際交流事業や研修会への人材の派遣**

既参加青年は、事業参加後様々な方面で活躍している。様々な国で行われている青年国際交流事業、研修会、セミナー等に人材を派遣することで、既参加青年に多くの活動の機会を提供している。

- ⑨ **名簿のデータベース**

各事後活動組織でそれぞれ自国の既参加青年の名簿を管理している。

- ⑩ **「世界青年の船」事後活動組織(SWYAA: Ship for World Youth Alumni Association)とのネットワーク推進**

「東南アジア青年の船」事業の既参加青年は、IYEOを通じて、「世界青年の船」事業の既参加青年とのネットワークを広げることできる。

4 「東南アジア青年の船」 事業実績

年度 (回)	訪問国 社 訪問国	参加国 (参集地)	期間		PY										NL	管理部	業務員 等	参加者 合計
			運航	日本 国内活動	ブルネイ	カンボジア	インドネシア	日本	ラオス	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	東ティモール	ベトナム	PY 合計	
昭和 49年度 (1)	インドネシア、日本、マレーシア、 フィリピン、シンガポール、タイ	タイ (バンコク)	10.10～ 11.21 43日間	11.21 ～11.30 10日間			30	30		30		30	30	30			180	217
			計52日間															
昭和 50年度 (2)		シンガポール	9.30～ 11.18 50日間	11.18 ～11.29 12日間			30	30		30		30	30	30			180	207
			計61日間															
昭和 51年度 (3)		フィリピン (マニラ)	9.28～ 11.15 49日間	11.15 ～11.26 12日間			30	30		30		30	30	30			180	209
			計60日間															
昭和 52年度 (4)		インドネシア (ジャカルタ)	9.27～ 11.16 51日間	11.16 ～11.26 11日間			30	30		30		30	30	30			180	204
			計61日間															
昭和 53年度 (5)		マレーシア (ポートクラン)	9.28～ 11.17 51日間	11.17 ～11.28 12日間			35	35		35		35	35	35			210	233
			計62日間															
昭和 54年度 (6)		タイ (バンコク)	9.29～ 11.16 49日間	11.16 ～11.27 12日間			35	35		33		35	35	35			208	232
			計60日間															
昭和 55年度 (7)		シンガポール	9.27～ 11.15 50日間	11.15 ～11.26 12日間			35	34		34		32	35	35			205	228
			計61日間															
昭和 56年度 (8)		フィリピン (マニラ)	9.25～ 11.13 50日間	11.13 ～11.21 9日間			35	34		34		35	35	35			208	231
			計58日間															
昭和 57年度 (9)		インドネシア (ジャカルタ)	9.22～ 11.9 49日間	11.9 ～11.17 9日間			35	35		35		35	35	35			210	233
			計57日間															
昭和 58年度 (10)		マレーシア (ポートクラン)	9.20～ 11.9 51日間	11.9 ～11.17 9日間			35	35		35		35	35	35			210	233
			計59日間															

年度 (回)	訪問国 注1	参集国 (参集地)	期間		PY										NL	管理部	業務員 等	参加者 合計
			運航	日本 国内活動	ブルネイ	カンボジア	インドネシア	日本	ラオス	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	東ティモール	ベトナム	PY 合計	
昭和 59年度 (11)	インドネシア、日本、マレーシア、 フィリピン、シンガポール、タイ	タイ (バンコク)	9.19～ 11.6 49日間	11.6 ～11.14 9日間	6 (試行参加)		35	35		35		35	35	35			216	239
			計57日間															
昭和 60年度 (12)	ブルネイ、インドネシア、日本、 マレーシア、フィリピン、 シンガポール、タイ	シンガポール	9.24～ 11.16 54日間	11.16 ～11.26 11日間	35		35	35		35		34	35	35			244	269
			計64日間															
昭和 61年度 (13)		フィリピン (マニラ)	9.29～ 11.20 53日間	11.20 ～11.26 7日間	35		35	35		35		35	35	35			245	269
			計59日間															
昭和 62年度 (14)		インドネシア (ジャカルタ)	9.29～ 11.20 53日間	11.20 ～11.27 8日間	35		35	35		35		34	35	35			244	269
			計60日間															
昭和 63年度 (15)		マレーシア (クアランタン)	10.1～ 11.21 52日間	11.21 ～11.29 9日間	35		35	35		35		35	35	35			245	269
			計60日間															
平成 元年度 (16)		ブルネイ (ムアラ)	9.26～ 11.16 52日間	11.16 ～11.23 8日間	35		35	35		35		35	34	35			244	269
			計59日間															
平成 2年度 (17)		タイ (バンコク)	10.5～ 11.22 50日間	11.22 ～11.30 9日間	35		35	35		35		35	35	35			245	270
			計58日間															
平成 3年度 (18)		フィリピン (マニラ)	9.15～ 11.2 49日間	11.2 ～11.9 8日間	40		49	45		45		49	39	45			312	338
			計56日間															
平成 4年度 (19)		シンガポール	9.25～ 11.10 47日間	11.10 ～11.18 9日間	40		50	45		45		45	44	44			313	339
			計55日間															
平成 5年度 (20)		インドネシア (ジャカルタ)	9.24～ 11.8 46日間	11.8 ～11.16 9日間	41		50	44		46		43	41	46			311	337
			計54日間															
平成 6年度 (21)		マレーシア (ポトクラン)	9.29～ 11.14 47日間	11.14 ～11.22 9日間	40		50	45		50		45	39	45			314	340
			計55日間															
平成 7年度 (22)		ブルネイ (ムアラ)	9.28～ 11.13 47日間	11.13 ～11.21 9日間	40		51	42		46		44	41	46		7 (試行参加)	317	345
			計55日間															

年度 (回)	訪問国 注1	期間		PY										NL	管理部	業務員 等	不参加者 等	参加者 合計
		参集国 (参集地)	運航	日本 国内活動	ブルネイ	カンボジア	インドネシア	日本	ラオス	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	東ティモール	ベトナム	PY 合計	
平成 8年度 (23)	タイ、シンガポール、マレーシア、 インドネシア、ブルネイ、ベトナム、 フィリピン、日本	タイ (バンコク)	9.27～ 11.18 53日間 計61日間	11.18 ～11.26 9日間	40		50	45		44		44	40	50		39	352	383
平成 9年度 (24)	シンガポール、インドネシア、 マレーシア、タイ、ベトナム、 ブルネイ、フィリピン、日本	シンガポール	9.22～ 11.12 52日間 計59日間	11.12 ～11.20 8日間	40	2 (試行参加)	46	44	2 (試行参加)	44	2 (試行参加)	44	38	44		40	346	380
平成 10年度 (25)	フィリピン、ブルネイ、インドネシア、 シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、 日本(ラオス、ミャンマーを代表 団が航空機により訪問)	フィリピン (マニラ)	9.30～ 11.17 49日間 計57日間	11.17 ～11.25 9日間	32	4 (試行参加)	30	32	32	32	31	30	31	32		30	316	351
平成 11年度 (26)	シンガポール、マレーシア、インド ネシア、タイ、ベトナム、フィリピン、 日本(ミャンマー、ラオスを代表 団が航空機により訪問)	シンガポール	10.29～ 12.10 43日間 計51日間	12.10 ～12.18 9日間	- 注2	6 (試行参加)	31	42	32	32	31	30	32	32		32	300	335
平成 12年度 (27)	シンガポール、ミャンマー、マレーシ ア、インドネシア、タイ、ベトナム、フィ リピン、日本(ラオス、カンボジアを 代表団が航空機により訪問)	シンガポール	10.24～ 12.6 43日間 計51日間	12.6 ～12.15 10日間	- 注2	32	32	40	32	32	31	32	32	32		30	325	361
平成 13年度 (28)	日本、フィリピン、ブルネイ、 シンガポール 注3	日本 (東京)	9.12～ 10.16 35日間 計44日間	9.3 ～9.12 10日間	28	28	28	37	28	28	27	28	28	28		27	315	353
平成 14年度 (29)	日本、ベトナム、インドネシア、 マレーシア、タイ、シンガポール (カンボジア、ラオス、ミャンマーを 代表団が航空機により訪問)	日本 (東京)	9.17～ 10.29 43日間 計52日間	9.8 ～9.17 10日間	27	28	28	38	28	28	28	28	28	28		28	317	355
平成 15年度 (30)	シンガポール、インドネシア、マレーシ ア、タイ、フィリピン、日本(ミャンマー、 ベトナム、ブルネイ、カンボジア、ラオ スを代表団が航空機により訪問)	シンガポール	9.2～ 10.14 43日間 計53日間	10.14 ～10.24 11日間	28	27	28	39	28	28	28	28	28	28		28	318	355
平成 16年度 (31)	日本、フィリピン、ベトナム、タイ、 インドネシア、シンガポール(ラオス を代表団が航空機により訪問)	日本 (東京)	9.9～ 10.22 44日間 計53日間	8.31 ～9.9 10日間	27	28	27	39	28	27	28	28	28	28		26	314	352
平成 17年度 (32)	マレーシア、タイ、ベトナム、ブルネ イ、フィリピン、日本(カンボジアを 代表団が航空機により訪問)	マレーシア (ポーターラン)	10.31～ 12.12 43日間 計51日間	12.12 ～12.20 9日間	28	28	28	38	27	28	28	28	28	27		28	316	363
平成 18年度 (33)	シンガポール、インドネシア、マレーシ ア、ブルネイ、フィリピン(ミャンマー を代表団が航空機により訪問)	シンガポール	10.23～ 12.4 43日間 計51日間	12.4 ～12.12 9日間	27	28	28	38	28	28	28	26	28	28		27	314	361
平成 19年度 (34)	日本、シンガポール、インドネシア、 マレーシア、タイ、ベトナム(ラオス を代表団が航空機により訪問)	日本 (東京)	11.1～ 12.12 42日間 計52日間	10.22～ 12.11 11日間	28	27	28	38	28	28	27	27	26	28		27	312	360

年度 (回)	訪問国 注1	参集国 (参集地)	期間		PY										NL	管理部	業務員 等	参加者 合計				
			運航	日本 国内活動	ブルネイ	カンボジア	インドネシア	日本	ラオス	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ					東ティモール	ベトナム	PY 合計	
平成 20年度 (35)	日本、ブルネイ、インドネシア、タイ、 ベトナム、フィリピン(カンボジアを 代表団が航空機により訪問)	日本 (東京)	10.31～ 12.11 42日間	10.21～ 10.31 11日間	27	28	28	39	28	28	28	28	27	25	26		27	311	11	15	8	359
平成 21年度 (36)			11.6～ 12.18 43日間	10.27～ 11.6 11日間	28	27	27	39	28	28	28	28	25	27	28		28	313	11	15	8	362
平成 22年度 (37)	日本、マレーシア、タイ、インドネシ ア、シンガポール、ベトナム(ラオス を代表団が航空機により訪問)	日本 (東京)	11.4～ 12.16 43日間	10.25～ 11.4 11日間	28	27	27	39	28	28	28	28	27	28	28		28	316	11	13	8	365
平成 23年度 (38)			11.4～ 12.16 43日間	10.25～ 11.4 11日間	28	28	28	38	28	28	28	28	27	28	28		28	317	11	13	8	365
平成 24年度 (39)	日本、ベトナム、タイ、シンガポール、 インドネシア、ブルネイ(ミャンマー を代表団が航空機により訪問)	日本 (東京)	11.2～ 12.14 43日間	10.23～ 11.2 11日間	28	28	38	27	26	28	28	28	28	24	28		27	310	11	14	8	358
平成 25年度 (40)			11.7～ 12.17 41日間	10.28～ 11.7 11日間	28	28	37	28	28	28	28	27	27	28		28	315	11	14	8	364	
平成 26年度 (41)	日本、ブルネイ、カンボジア、 ミャンマー、インドネシア	日本 (東京)	11.7～ 12.18 42日間	10.29～ 11.7 10日間	27	28	39	28	27	28	28	28	28	26	28		28	315	11	13	8	362
平成 27年度 (42)			11.5～ 12.17 43日間	10.27～ 11.5 10日間	28	28	37	28	25	26	27	28	27	27	28		28	309	11	11	8	356
平成 28年度 (43)	日本、ベトナム、タイ、シンガポー ル、インドネシア(カンボジアを代 表団が航空機により訪問)	日本 (東京)	11.4～ 12.15 42日間	10.25～ 11.4 11日間	28	28	39	28	28	28	28	28	28	27	28		28	318	11	12	8	365
平成 29年度 (44)			11.2～ 12.13 42日間	10.23～ 11.2 11日間	28	27	28	38	28	28	28	28	27	25	28		28	313	11	11	8	361
平成 30年度 (45)	日本、ブルネイ、フィリピン、タイ、 ベトナム	日本 (東京)	11.2～ 12.13 42日間	10.23～ 11.2 11日間	27	28	37	28	28	28	28	27	28		28	314	11	10	8	363		
			11.2～ 12.13 42日間	10.23～ 11.2 11日間	28	28	37	28	28	28	28	28	28	27	28		28	314	11	10	8	363

年度 (回)	訪問国 注1	参集国 (参集地)	期間		PY												NL	管理部	業務員 等	ボランティア 等	参加者 合計
			運航	日本 国内活動	ブルネイ	カンボジア	インドネシア	日本	ラオス	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	東ティモール	ベトナム					
令和 元年度 (46)	日本、ベトナム、シンガポール、 ミャンマー、マレーシア	日本 (東京)	11.3～ 12.13 41日間	10.24～ 11.3 11日間	28	28	28	39	28	28	27	28	28		28	317	11	11	21	9	369
			計51日間																		
令和 5年度 (47)	日本	日本 (東京)	オンライン	日本 国内活動	10	10	10	20	10	10	10	10	10		10	110	10	24	5	149	
			11.12、 11.19 2日間	11.29～ 12.8 10日間																	
令和 6年度 (48)	日本、ベトナム、インドネシア	日本 (東京)	運航	日本 国内活動	15	15	15	20	15	15	15	15	15	2	15	157	11	32	6	206	
			11.07～ 12.06 30日間	11.04～ 11.07、 12.06～ 12.11 8日間																	
令和 7年度 (49)	日本、シンガポール、タイ	日本 (東京)	運航	日本 国内活動	16	16	16	19	16	16		16	16	6	16	169	11	33	6	219	
			1.25～ 2.16 23日間	1.15～ 1.24 10日間																	
計			計33日間		1,096	612	1,583	1,782	669	1,553	622	1,536	1,505	1,561	8	743	13,270	436	1,163	143	15,012

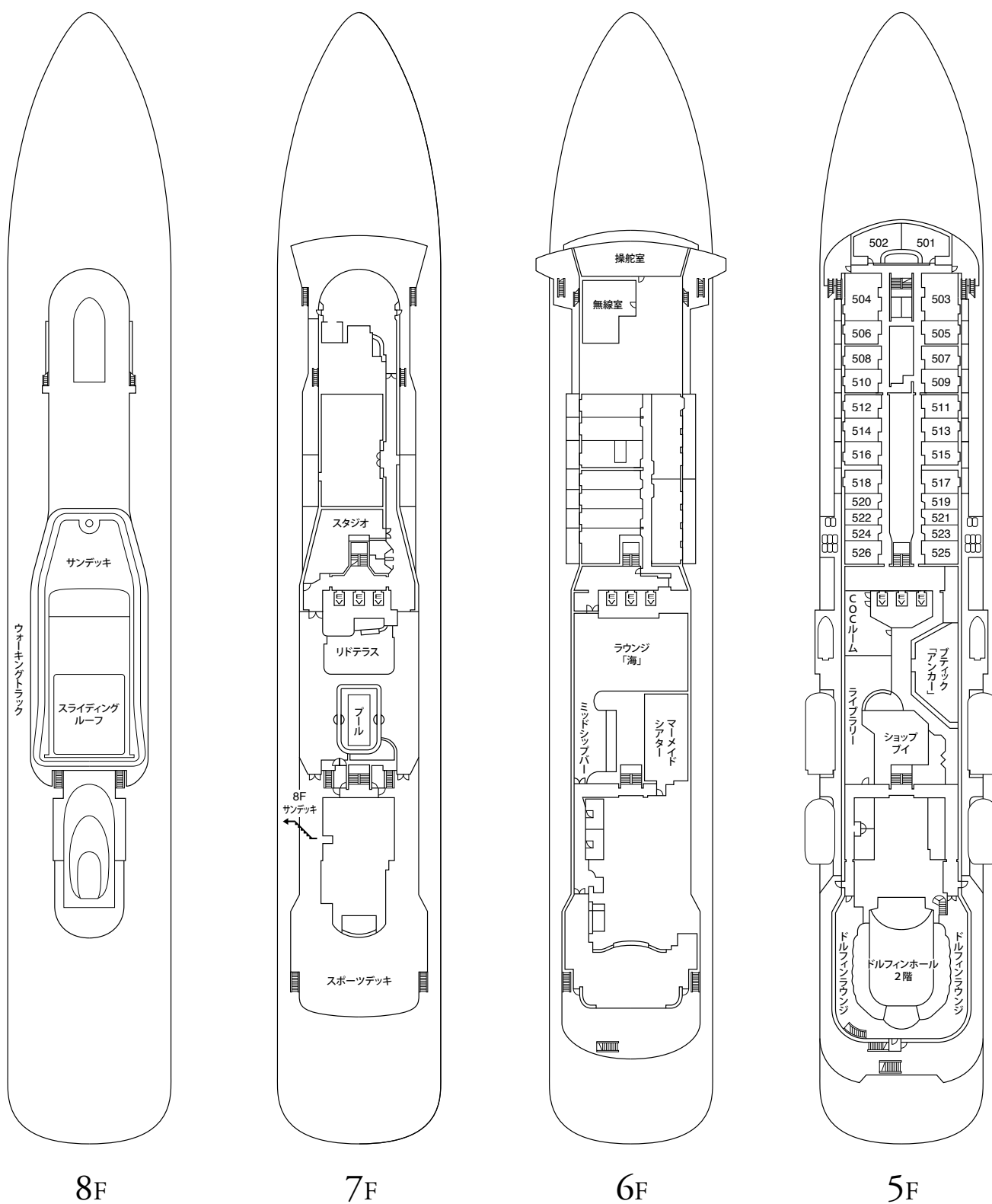
本表においては、「運航」とは、出航日から下船日までの期間とする。また、「日本国内活動」とは、外国参加青年が来日した日を含むこととする。

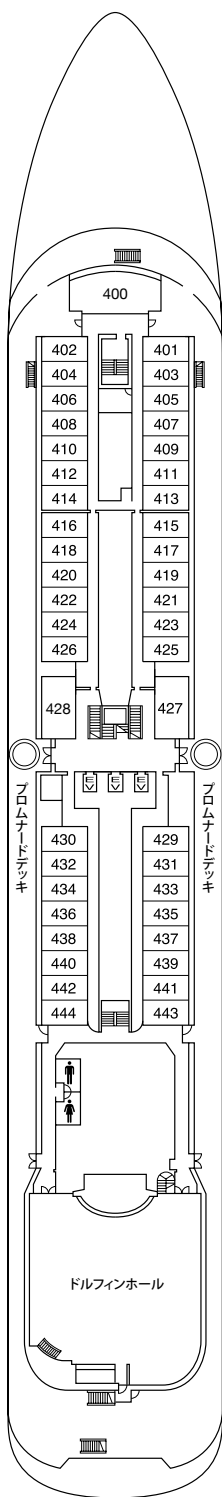
注1 訪問国については、平成7年度までは国名のアルファベット順、平成8年度からは訪問順に並んでいる。

注2 「東南アジア青年の船」事業の実施期間がイスラーム教の断食月(ラマダーン)に当たったため、参加を見送った。

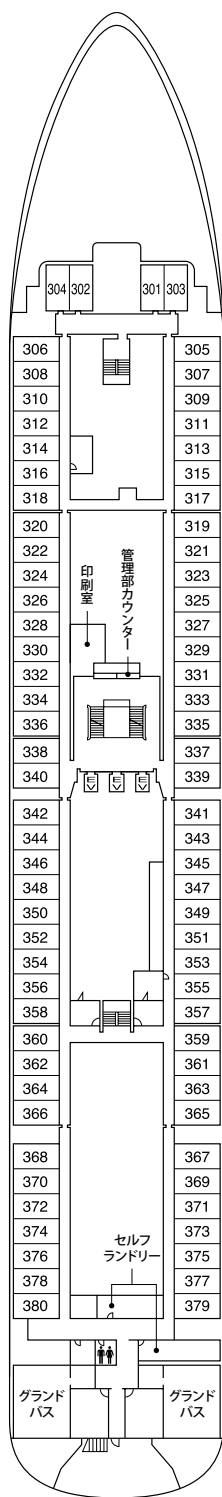
注3 ブルネイにおける事故のため、これ以降のプログラムは短縮され最終寄港地のシンガポールで外国参加青年は下船した。これにより、カンボジア、ラオス及びミャンマーへの代表団による航空機での訪問は中止された。

5 にっぽん丸船内配置図

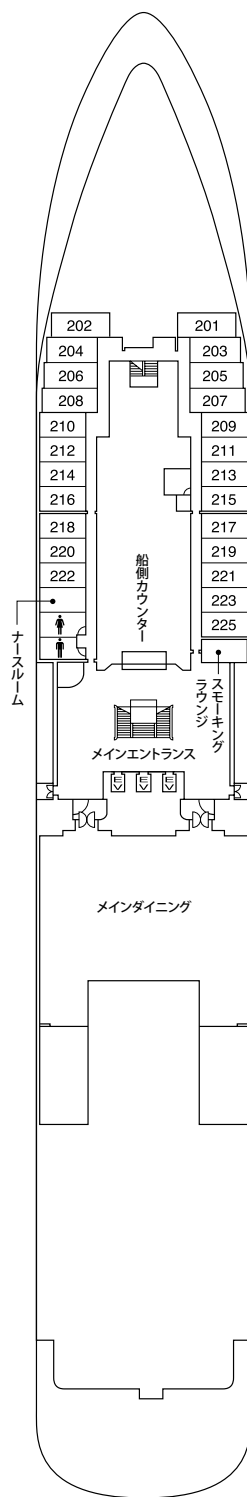




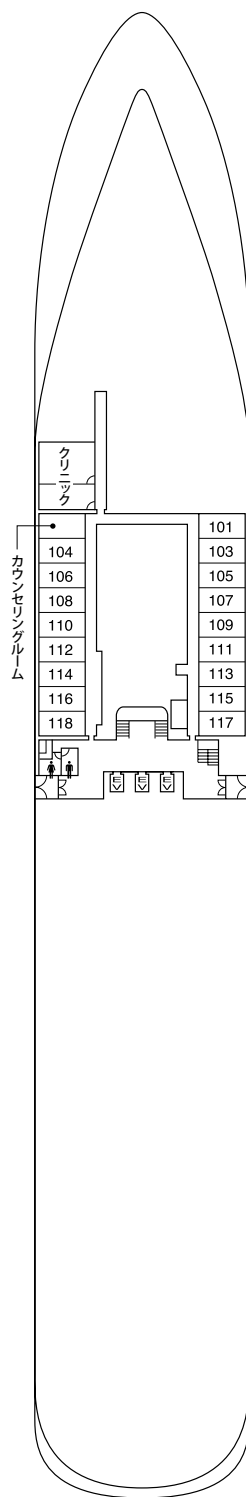
4F



3F



2F



1F